

## 飯島賢二の『恐縮ですが・・・一言コラム』

### 第 130 回 新たなステージへ脱皮 ～ それができねば、喝！！

2006.1.1

時代が激変している。

10 年前の状況と全く変わってしまっている価値観、購買消費動向、マーケット環境、企業環境等、それらの変化に我々自身がどう変化したのか。ただ、ひたすら事業を一生懸命やっていたら、状況が好転する時代では無くなっている。時代を見極め、新たな変化へ果敢なる対応をチャレンジしてこそ、生き残る最大のテーマとなる。

何に向ってのチャレンジか...！

それは従来の発想と、既存のオペレーションに依存する限り見えてこない。何時までもこの思考から脱皮できないでいるとすれば、...「第 1 幕は終了し、ネクストアクト（次の幕場）が開演されている今、いつまでも第 1 幕のステージに取り残されてしまっている、」...あたかもそんな比喻の世界に止まっているように映る。

次代へのステージは刻々と変わり、一刻も早く新たなステージへデビューしなければならない時である。

そして、その新たなステージを構成する大きな要因は...

市場のグローバル化へ脱皮～ 世界的ブロック化経済戦略の確立

価値観のグローバル化へ脱皮～ グローバルスタンダードの定着

全地球的新環境創造～ エコロジー、福祉観、新産業創造

自立と独自性の確立～ 「勝ち組」のみが生き残る

情報技術の世界的進展への対応～ 当然の IT 化社会形成

あらゆる「硬直化」からの脱皮～ 「ぶち壊す」的発想とパワー

新たな連携とコミュニティの創造～ クラスタ、産業コミュニティ である。

特に、世界的価値観とグローバル的マーケットや企業との連携は、特別な企業や地域だけのテーマではなくなった。地域産業を構成する中小企業といえども、決して例外にあらざ、新たなステージづくりに向け、早急なる対処が求められている筈である。世界のスタンダードを認識しないと、自分に位置が分からなくなってしまう。個々の企業も、地方の一都市といえども、この「気付き」がない限り、「自立」することはできない。

10 年前には存在しなかった新たなステージは、今現在着実に定着しつつある。そのステージとは、自分自身はもちろんのこと、中小企業にとり、地域を支える産業にも、あるいは新たな環境に生きる地域、社会にもそれぞれの形で存在する。一刻も早く、それぞれのフィールドステージへ向けて「脱皮」することである！

それができなければ、喝！！である。

( 熊谷商工会議所刊 『2005 熊谷市産業振興ビジョン』～飯島賢二著より抜粋修正 )